

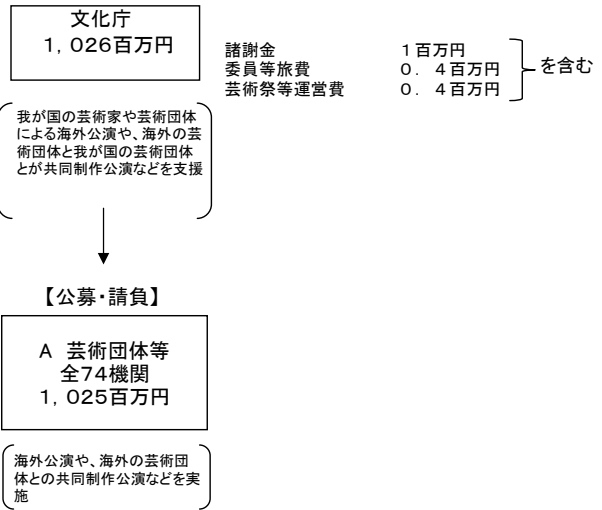
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	芸術による国際交流活動への支援		担当部局	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度		担当課室	芸術文化課 伝統文化課		芸術文化課長 山崎 秀保 伝統文化課長 湊屋 治夫	
会計区分	一般会計		施策名	XII-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外の優れた芸術団体との共同制作公演や海外で開催される国際芸術祭等への参加を支援することにより、国際芸術交流を推進し、世界最高水準の芸術団体・芸術家の養成を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際芸術交流支援事業⇒上記の目的を達成するため、芸術団体が行う以下の公演に対し支援。[補助率 対象経費の一部] ・我が国の芸術団体の海外フェスティバルへの参加や、支援対象となる周年事業等にかかる二国間交流 ・我が国で行われる舞台芸術の国際共同制作公演 ・我が国で行われる舞台芸術の国際フェスティバル						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	1,514	1,549	1,124	1,120	957
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	1,514	1,549	1,124	1,120	957	
	執行額	1,434	1,468	1,026			
執行率(%)	94.7%	94.8%	91.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(-年度)
	芸術水準の向上を定量的に指標化することは非常に困難である。 【参考指標】国際芸術交流支援事業申請数(二国間交流事業を除く)		成果実績	件	111	102	123
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際芸術交流支援事業支援数(二国間交流事業を除く)		活動実績(当初見込み)	件	63	66	60
単位当たりコスト	13.85(百万円/1件あたり)		算出根拠	平成22年度決算額 1,025百万円/平成22年度支援数 74件			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	1	1	積算件数の見直しによる減			
	職員旅費等	1	1				
	委員等旅費	2	1				
	文化芸術振興費補助金	1,116	953				
計	1,120	957					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>事業仕分け結果を踏まえ、単価及び公演数の縮減を図るとともに、平成23年度より二国間交流の区分を廃止し、我が国の芸術団体の芸術水準向上のため必要な事業に対して支援を行っている。なお、芸術分野において、本事業を実施する意義は非常に大きいことから、今後とも適切に事業を実施していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、二国間の芸術交流や海外の優れた芸術団体との共同制作公演等に対する支援を行う補助事業であり、長期継続事業の観点から検証を行った。 2. 所見:本事業は、一昨年の事業仕分け結果を踏まえ、単価及び公演数の縮減を図ってきているところであるが、平成8年度から実施している事業であり、国として支援する公演の対象を精選し重点化するなど、引き続き予算の見直しを図るべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>本事業については、予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、公演の対象を精選することなどにより、概算要求に▲164百万円を反映した。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業仕分け(平成21年11月)評決結果:文化関係①芸術家の国際交流(国際芸術交流支援事業(上記①))は予算要求の縮減→対応:単価、公演数の減(22予算対応済)</p>			

※平成22年度実績を記入



※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A.日本BeSeTo委員会			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	出演・音楽 ・芸費	出演料, 演出料, 監修料, 振付料等	23			
	諸謝金・旅費 ・広報経費	原稿執筆謝金, 交通費, 宿泊費, 案内状送付 料, 広告宣伝費, プログラム印刷費等	16			
	会場・舞台費 ・運搬費	会場使用料, 稽古場借料, 大道具費, 小道具 費, 衣装費, 道具運搬費等	11			
計	上記経費のうち左記の額を支出	50	計		0	
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本BeSeTo委員会	第17回 BeSeTo演劇祭 日本開催	50	企画競争	100
2	特定非営利活動法人 舞台21	東京ミドルシアター・フェスティバル 第1回「国際イブセン演劇祭」	40	企画競争	100
3	ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭2010	34	企画競争	100
4	「法然と親鸞」海外公演実行委員会	Aプロ歴史劇『法然と親鸞』Bプロ歌舞伎劇『狂言舞踊・茶壺/歌舞伎十八番・鳴神』	30	企画競争	100
5	あいちトリエンナーレ実行委員会	あいちトリエンナーレ2010パフォーミングアーツ	30	企画競争	100
6	株式会社 ソル・デ・エスパルニャ	『ひびき』/『浄瑠璃・フラメンコ』	30	企画競争	100
7	財団法人 日本舞台芸術振興会	東京バレエ団第24次海外公演	30	企画競争	100
8	有限会社 山海塾	有限会社山海塾公演『欧州・ブラジル・北米ツアー』	30	企画競争	100
9	特定非営利活動法人 魁文舎	フリオ・エストラダ・アンサンブル メキシコ現代オペラ「原野のささめき」日本招聘公演	30	企画競争	100
10	財団法人 NHK交響楽団	NHK交響楽団 北米公演2011	30	企画競争	100